

ジェンダー史学会第5回記念大会プログラム

日時 11月30日(日)

場所 東京大学・経済学研究科棟(東京都文京区本郷)

<http://www.e.u-tokyo.ac.jp/fservice/address/address.j.htm>

大会参加費: 一般参加 1500円、会員 1000円

学生・院生(会員・一般参加共通) 500円

茶話会参加費: 一般参加者、会員、学生・院生 1000円

○ 自由論題 10:00~12:00

部会A 司会および進行(小野沢あかね) 会場: 第2教室

1) 10:00~10:40 林葉子

「安部磯雄における男性性の問題——断種論を中心に——」

2) 10:40~11:20 嶽本新奈

「優生学と結びつく『在外売淫婦』批判の検討」

3) 11:20~12:00 嶺山敦子

「久布白落実と戦後性教育の展開——性教育・純潔教育・家族計画——」

部会B 司会および進行(加藤千香子) 会場: 第3教室

1) 10:00~10:40 高橋彩

「明治期の海外女子留学生と留学生政策」

2) 10:40~11:20 高安桃子

「アジア・太平洋戦争中の傷痍軍人結婚保護対策——傷痍軍人の妻に求められていたもの」

部会C 司会および進行(栗屋利江) 会場: 第4教室

1) 10:00~10:40 片倉綾那

「『緋色の産室』生まれであること——ビザンツ皇女アンナ・コムネナのアイデンティティの構築をめぐる——」

2) 10:40~11:20 千代崎未央

「20世紀前半の『植民地』における女性たちの課題——1938年『パレスチナ防衛のための東洋女性会議』の事例から」

○ 総会 13:00~14:00 会場: 第2教室

○ シンポジウム 14:15~17:15 会場: 第2教室

テーマ 「労働のジェンダー史」

(司会) 大森真紀

(シンポジスト)

ジャネット・ハンター

「後発工業国における労働のジェンダー化の過程—戦前期日本の工場労働を中心として」

姫岡とし子

「ドイツにおける労働とジェンダー関係」

大橋史恵

「北京の農村出身家事労働者—再生産労働にみるジェンダー分業の再編成」

(コメンテーター)

大門正克、リンダ・グローブ

(趣旨説明)

谷本雅之

○茶話会 17:30～18:30 会場:1階コミュニティ・ラウンジ

*日曜日のため会場近辺の食堂等の多くは休業しております。昼食をご持参くださるようお願いいたします。
なお、コンビニエンス・ストアは大学周辺でも数軒営業しております。